

中小企業向けITインフラのご紹介

情報技術委員会

一 目 次 一

0. 標準化取組みの全体像

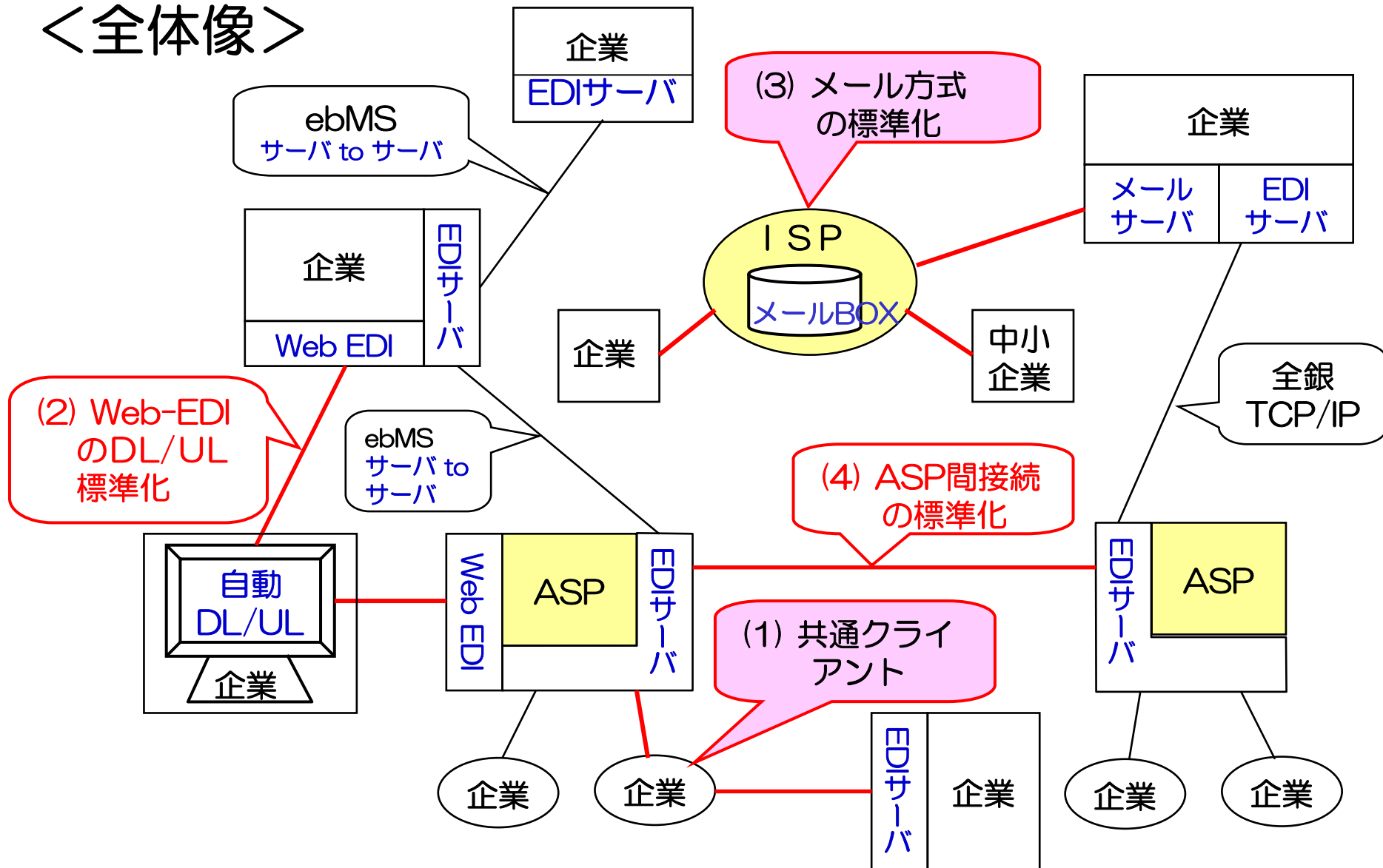
1. 中小企業におけるEDI導入の課題

2. JEITA共通クライアント手順

3. メール方式でのEDI運用標準化

0. 標準化活動の全体像

<全体像>



1. 中小企業におけるEDI導入の課題

◆未導入企業の課題

- ・IT対応要員不足
- ・EDIと連携する業務システムが整備されていない
- ・EDIシステム導入のコスト対効果がわからない

◆導入済み企業の課題

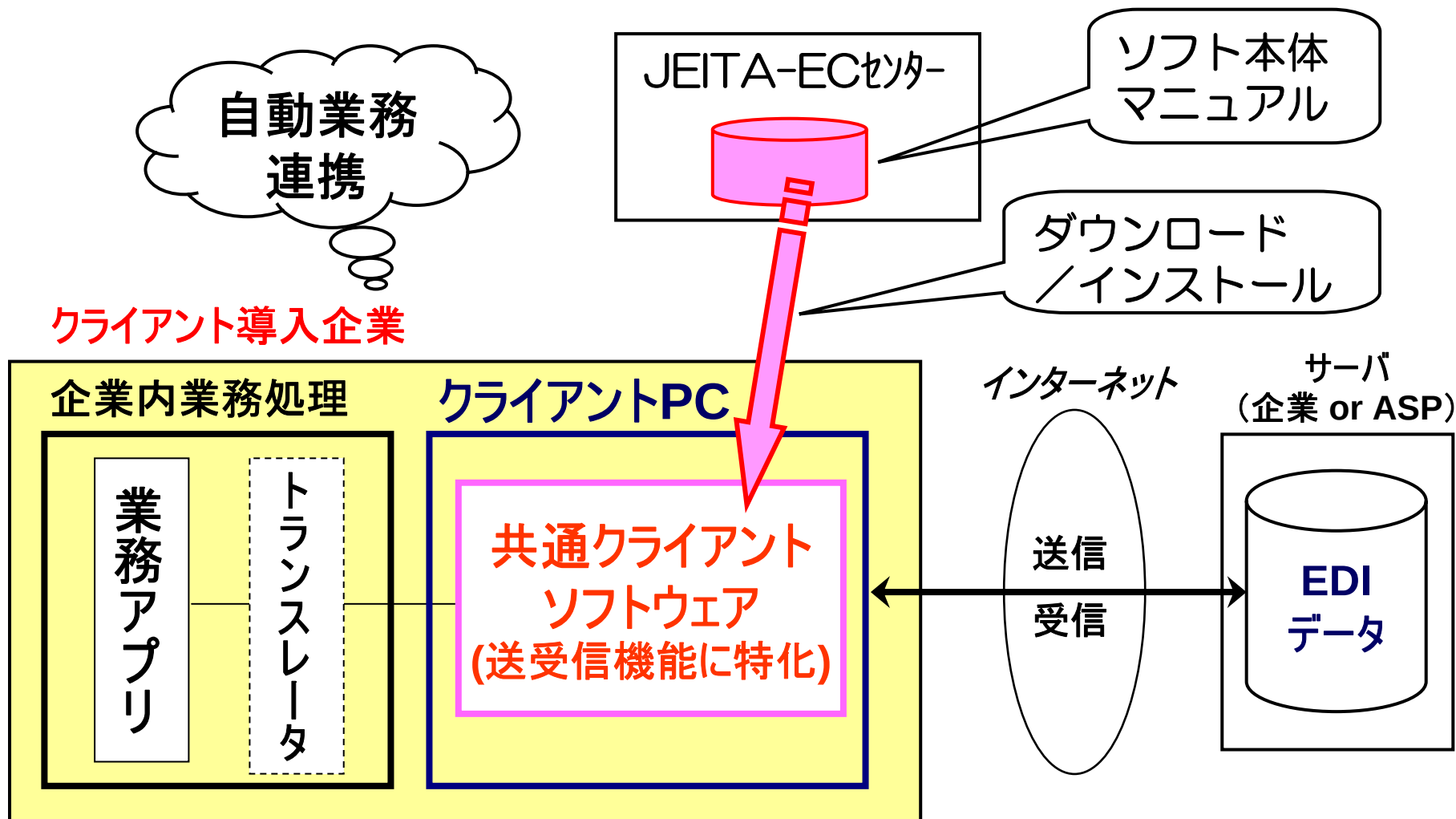
(取引先からの要請により導入している企業)

- ・Web-EDIなど取引先ごとに不統一なインタフェース
- ・EDI導入が業務効率化につながっていない

⇒導入が容易で、安価な標準的EDIシステムインフラが必要

2. JEITA共通クライアント手順

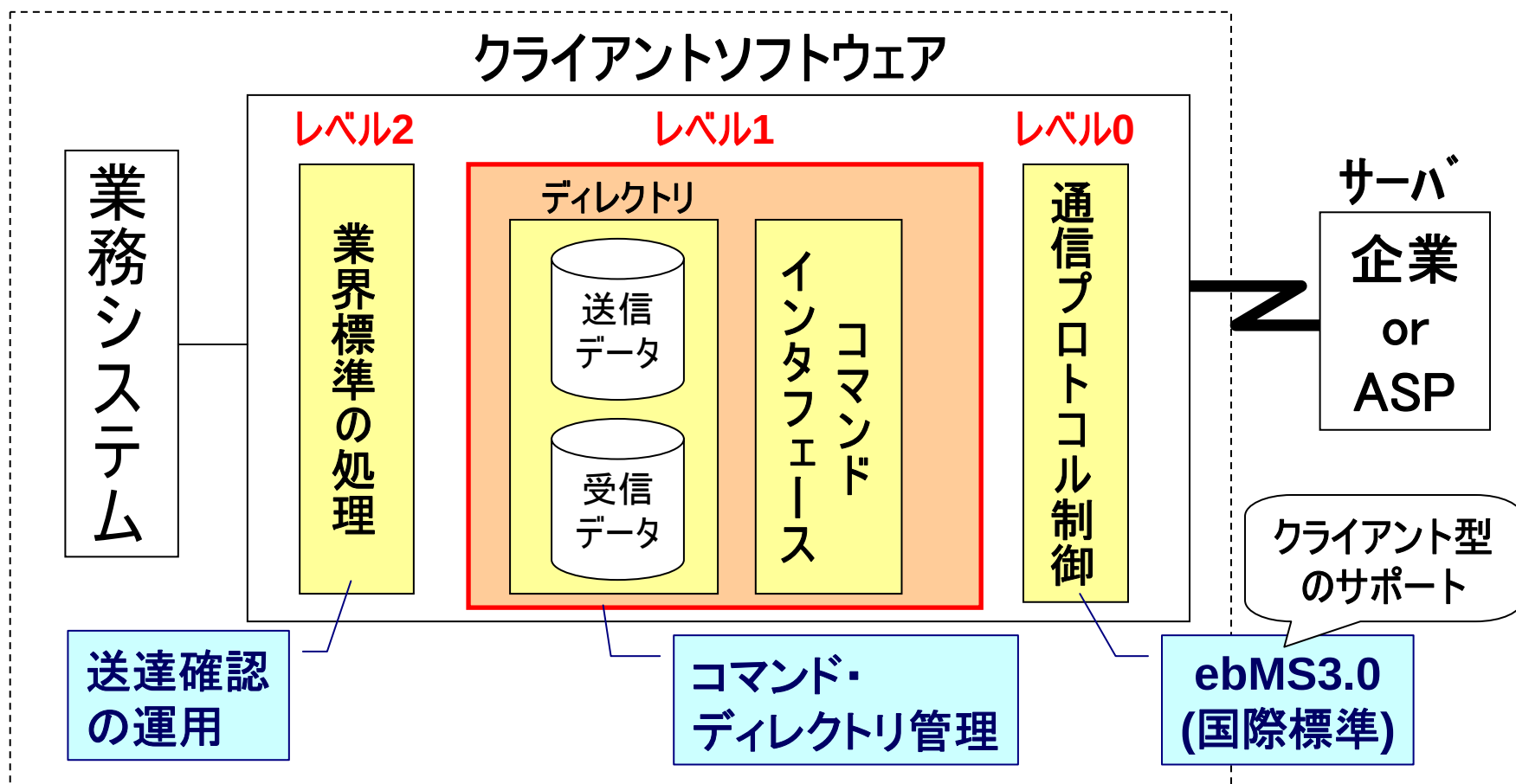
- ◆ECALGA2007Aに標準通信プロトコルとして追加
- ◆ソフトウェアの無償提供⇒安く、容易に



2. JEITA共通クライアント手順

◆ ソフトウェアの概要

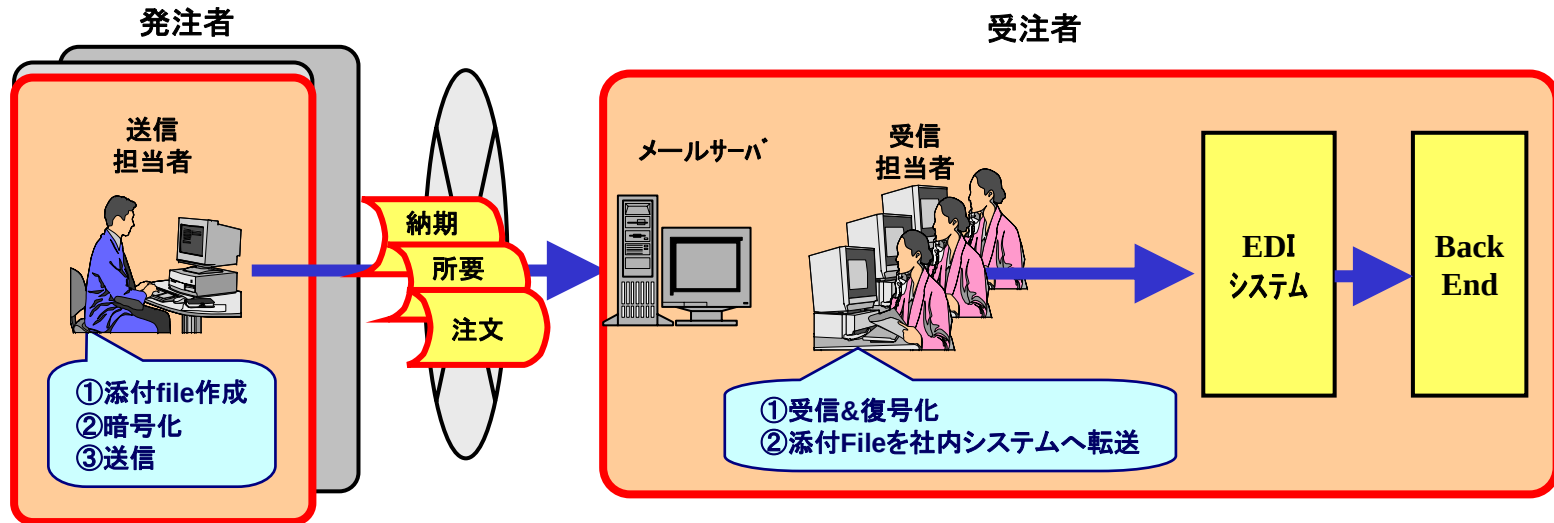
- ・レベル0：通信プロトコル制御⇒国際標準ebMS3.0(**Pull型**)準拠
- ・レベル1：送受信コマンド制御とファイル管理
- ・レベル2：業界標準ビジネスプロセス管理／運用制御



3. メール方式でのEDI運用標準化

(1) 背景、現状の課題

◆メール方式によるEDIの容易性による拡大



◆拡大による問題や弊害も起こっている

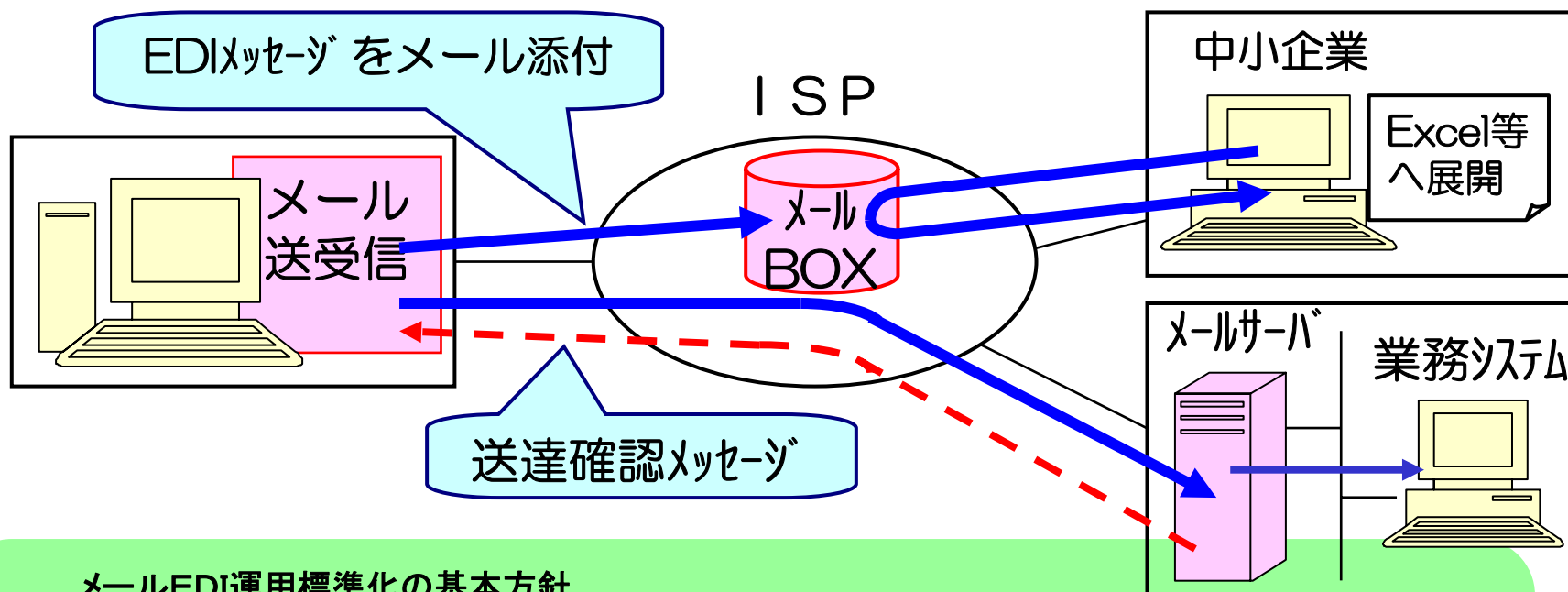
- ・取引先個々の方式による操作ミス等の弊害の増加
- ・運用方式
- ・ファイルフォーマット

⇒運用の煩雑性を解決する必要がある

3. メール方式でのEDI運用標準化

(2) 標準化の概要と基本方針

メール環境を活用し、安価・容易にEDIを実現
⇒運用ルールの標準化(セキュリティ、メールアドレス、添付ファイル、送達確認 等)



メールEDI運用標準化の基本方針

簡易性を失わず、且つデータ交換企業同士の効率化を両立する下記アプローチ

- ①人間可読を主とする。
- ②連携する社内システムへの取込みが容易な機械可読形式のEDIデータを標準化する。
- ③EDIデータのフォーマットとしては、ECALGA標準を基本とする。
- ④セキュリティ面は強度の高い方式(SMIME等)が望ましいが、無理な場合は最低レベルの強度で添付ファイルのパスワード機能付きを推奨する。

3. メール方式でのEDI運用標準化

(3) 標準化の内容

①メール本体の項目標準化⇒送信元/宛先、タイトル、本文

送信(S) | 印刷 | 返信 | 返信(すべて) | オプション(P)... | HTML 形式

このメッセージはまだ送信されていません。

差出人... 900999株式会社エリスXXX

宛先... 900888アルXXX株式会社

CC...

件名: 2006A(BDS0210)注文情報20060922

添付ファイル... ECALGA2006A-BDS0210発注900999エリスXXX900888アルXXX20060922添付.csv (4 KB)

MS ゴシック 10

(1) ECALGA 標準:2006A メール EDI 運用標準、

(2) 発注者:900999 株式会社エリス XXX 小原、

(3) 受注者:900888 アル XXX 向江氏、

(4) データ作成日:20060922、

(5) ビジネスドキュメント ID:注文情報、

(6) 基本 TPA 管理番号:900999900888060922xw、

(7) 運用モード:本番、

■送信元・宛先

- ・EDI用のメールアドレスを設定
- ・相手先がわかる表示名称の設定
例) 標準企業コード上6桁+企業名称

■タイトル

例):2006A(BDS0210),注文情報20060922,1/2

① ② ③ ④ ⑤

- ① 準拠したECALGA標準バージョン
- ② ビジネスドキュメントID
- ③ ビジネスドキュメント名称
- ④ データ作成日
- ⑤ ファイル分割数

■メール本文

送受信者の為の参考情報

■添付ファイル

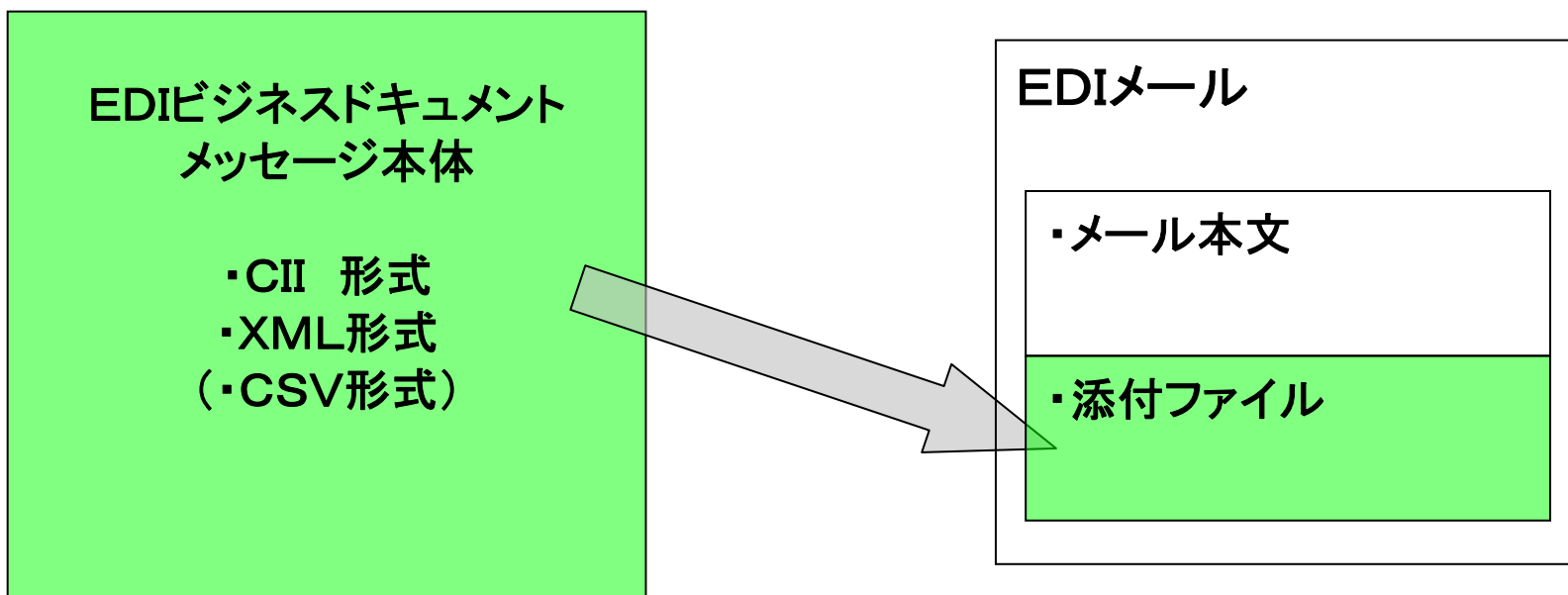
交換するEDIデータを入れる

3. メール方式でのEDI運用標準化

②添付ファイルの形式と内容

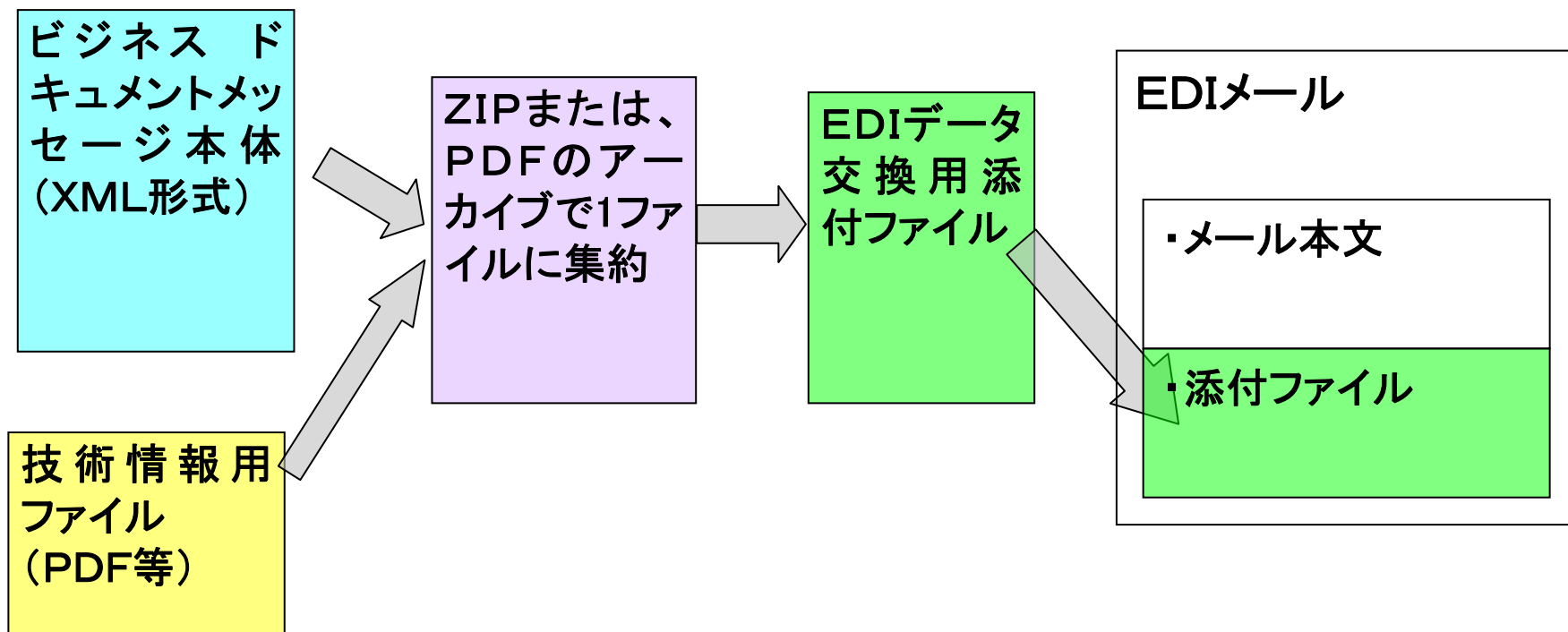
ビジネスドキュメント及び電子部品に関する技術情報
ファイルをメールに添付

◆サプライチェーンモデル



3. メール方式でのEDI運用標準化

◆エンジニアリングチェーンモデル



3. メール方式でのEDI運用標準化

③添付ファイル数

- ・ 添付できるファイルの数は1個とする

④添付ファイル容量

- ・ 2者間の取り決めに従う (T P A)

⑤添付ファイルの圧縮形式

- ・ P D Fのアーカイブ
- ・ Z I P

⑥添付ファイル名

- ・ X M Lの場合

B D - 0 0 9 0 納入仕様書提供依頼. x m l

- ・ C I Iの場合

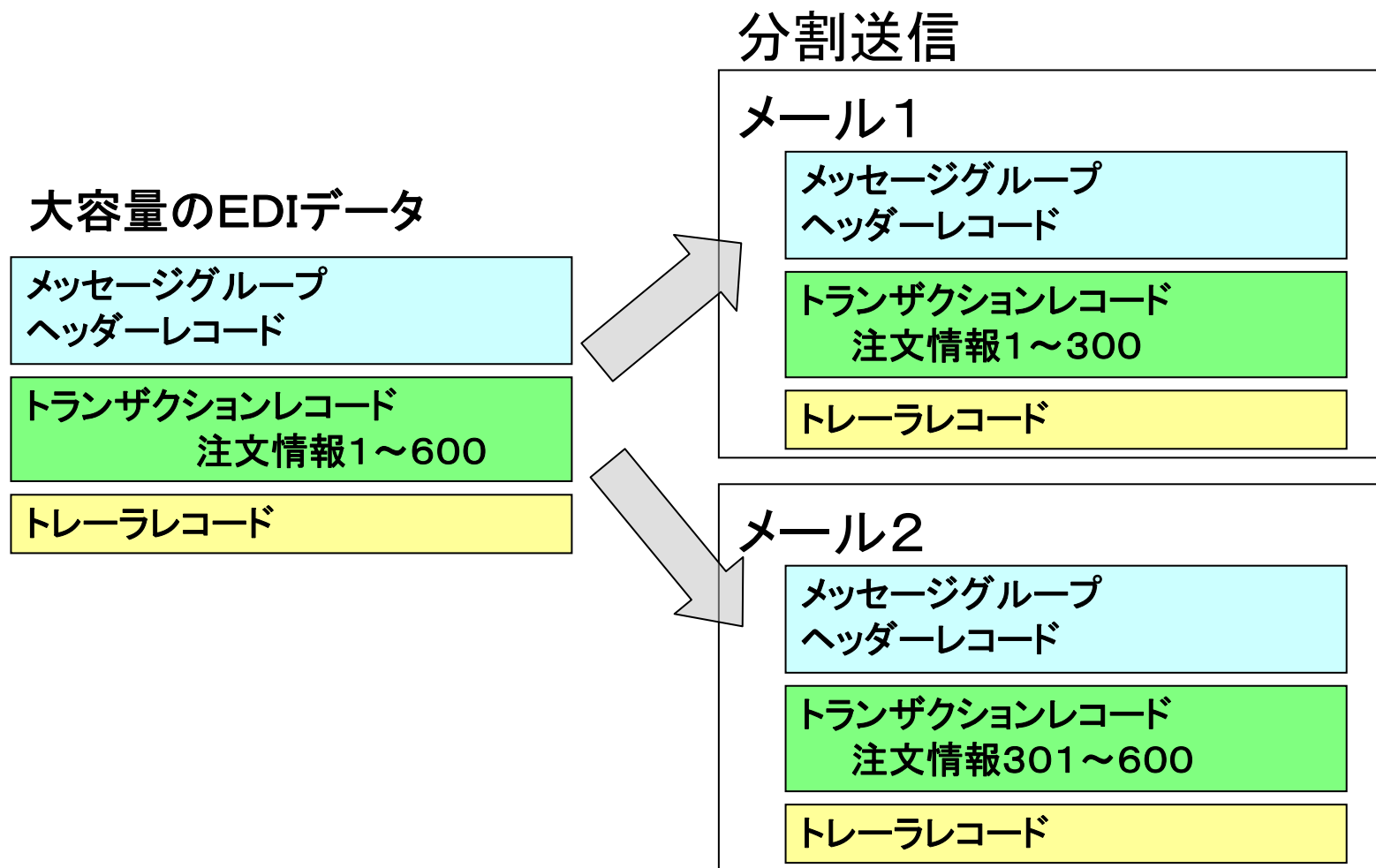
B D S 0 2 1 0 注文情報. c i i (2者間の取り決め)

- ・ C S Vの場合

B D S 0 2 1 0 注文情報. c s v

3. メール方式でのEDI運用標準化

⑦添付ファイル(EDIデータ)の分割



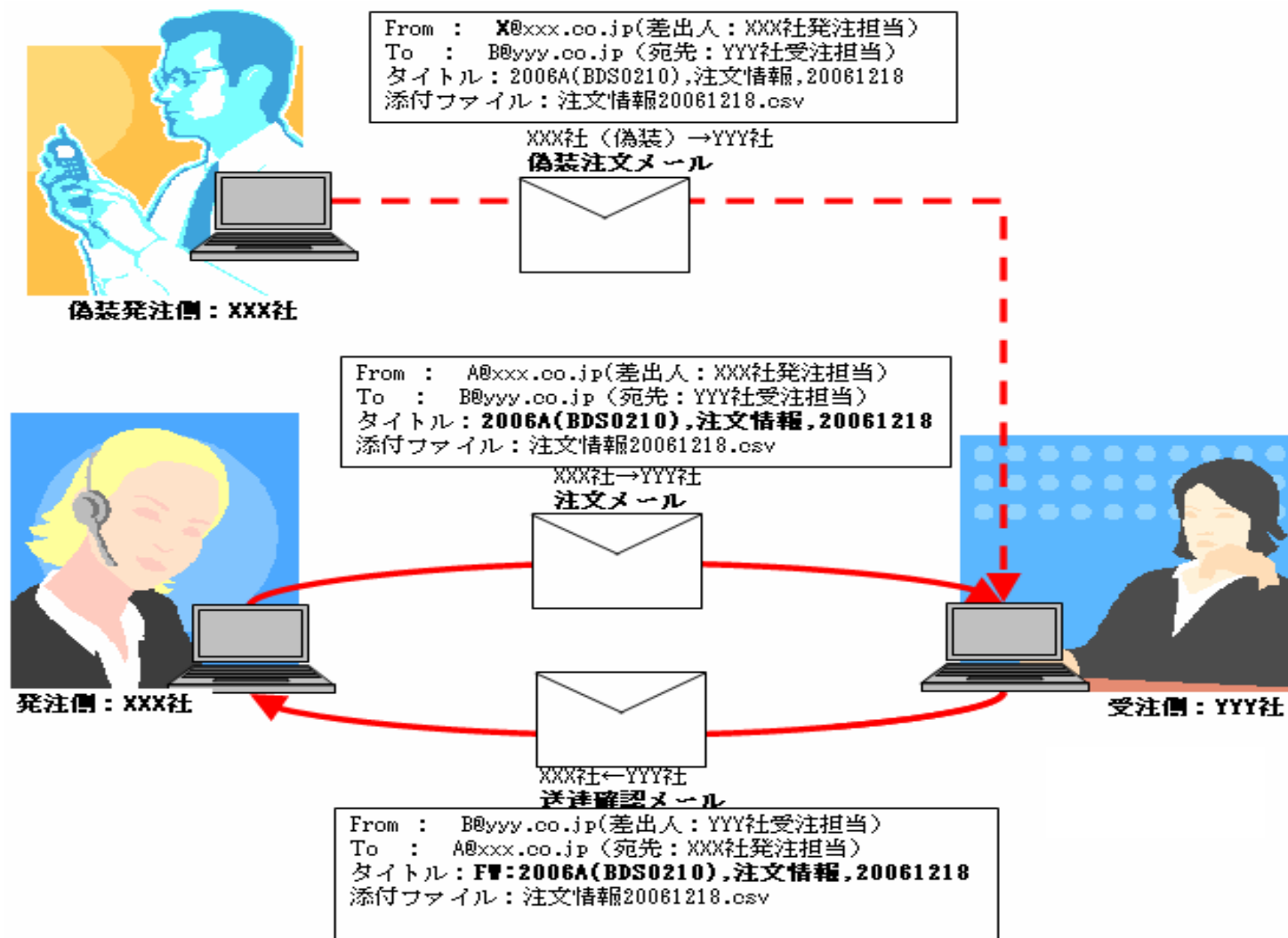
3. メール方式でのEDI運用標準化

⑧運用ルール

セキュリティ対策	必須、設定は送受信者間のTPAで取決める。 (メール暗号化、ファイルパスワードの方式 等)
取り扱いファイル	添付ファイル数は原則1ファイルとし、データ量が多い場合はメールを分ける。
アーカイブ方式	圧縮方式は送受信者間のTPAで取決める。
送達確認 (受領確認)	必須、確認方式は送受信者間のTPAで取決める。 送信側はメールが届かない場合を想定して、送達確認の監視を行い対応策を講じる。
TPA推奨項目	・ 運用スケジュール【稼働日、稼働時間】 ・ 業務取決め事項【取引基本契約書、メッセージインターフェイス】 ・ メッセージ運用【保存期間、受信順序管理、ゼロ件処理】 ・ 運用体制【例外(エラー等)発生時の対応方法】

3. メール方式でのEDI運用標準化

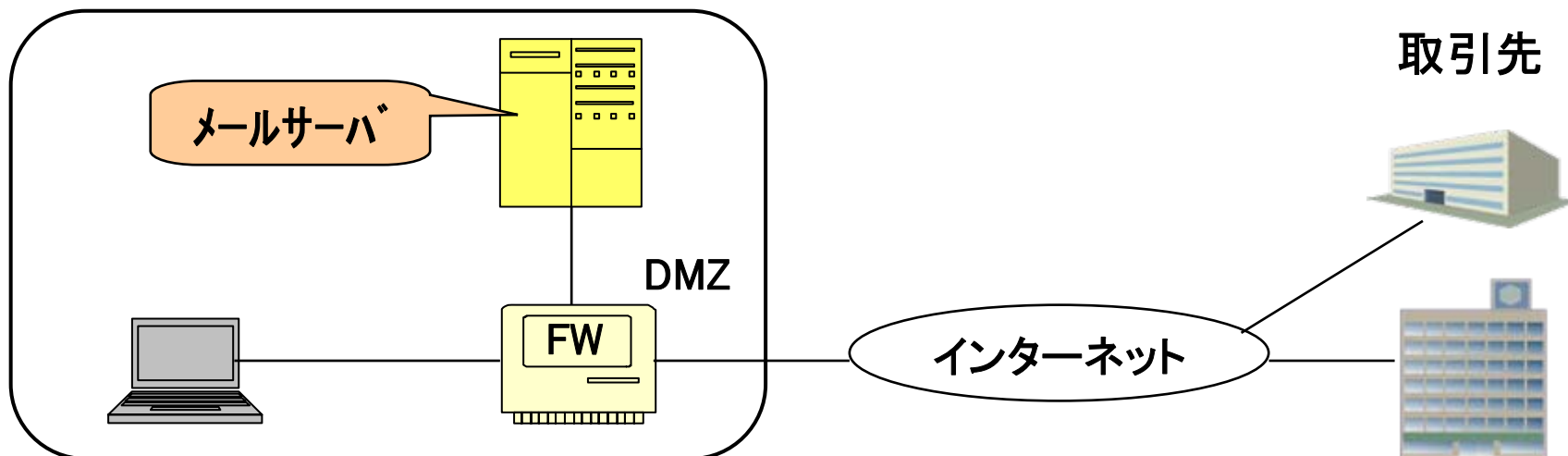
送達確認イメージ図



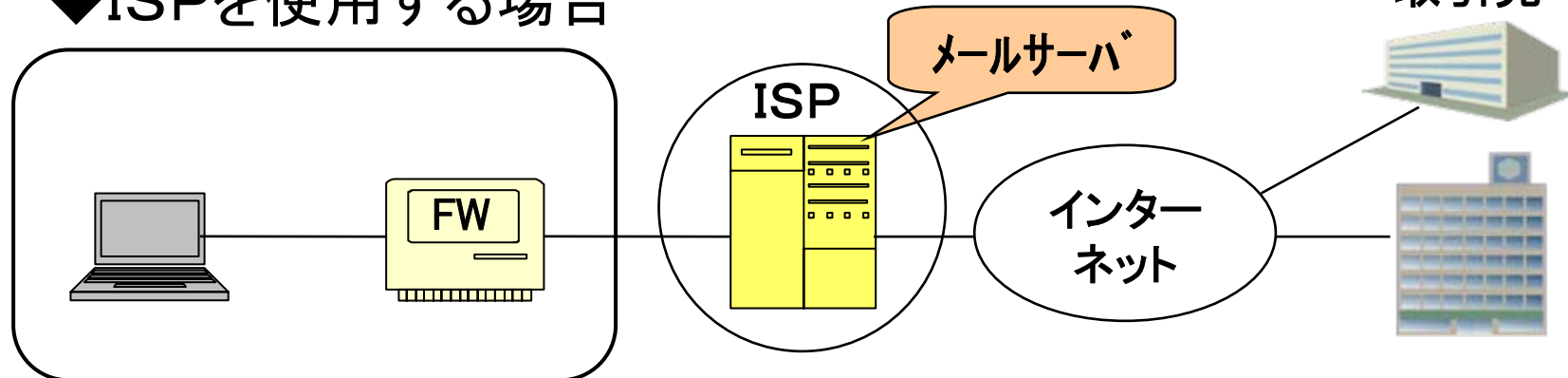
3. メール方式でのEDI運用標準化

(4) システム環境

◆ 自社でメールサーバを立てる場合



◆ ISPを使用する場合



3. メール方式でのEDI運用標準化

◆環境情報PDFの交換事例

環境情報PDF(原紙)の準備

JEITA ECセンターより入手

交換手順

①依頼者は環境情報PDFに依頼事項(品番など)を記述して回答者へメール送信

②回答者はメールを受信したら環境情報PDFに回答入力後、署名して依頼者へメール送信

③依頼者はメールを受信したら内容を確認後、署名して回答者へメール送信

JEITA 含有化学物質申請書
ECALGA Ver2006A-Rev01

XML出力

依頼者署名

回答者署名

依頼者情報 黄色フィールドは必須項目です					
フォーマット整理番号 123	依頼者企業コード 01471234560000100	依頼者企業名 発注株式会社		依頼者品目番号 ITEM-R-001	依頼者品名 半固定可変抵抗器
材料グレードNo.	金属記号・JIS記号	メーカー着色NO.	板厚 m	色	径 m
依頼者部署名 購買1課	依頼者担当者名 発注太郎	依頼者電子メール taro@abc.com	依頼者DUNS No.	依頼者記入日 2007-04-19	回答者製品品番 ITEM-A-001

回答者情報 黄色フィールドは必須項目です					
回答者企業コード 01346543210000100	回答者企業名 受注株式会社		回答者連絡先 東京都 x x 区 y y 1-2-3	フォーマットバージョン	フォーマットツール名称
バージョン 001	リビジョン 01	作成日付 2007-04-19	最終改定日付 2007-04-19	回答者製品品番 ITEM-A-001	回答者品名 半固定可変抵抗器
回答クラス JGPSSI標準	調査対象物質 JGPSSI指定?	単位 PC	質量 10 g	ECALS確認要否 FALSE:なし	含有鉛合判定 0:なし
特記事項	回答者部署名 設計3課	回答者担当者名 受注次郎	回答者電子メール jiroh@def.com	回答者DUNS No.	回答者記入日 2007-04-19
生産者企業名	生産者部署名	生産者担当者名	生産者電子メール	生産者製品名	
依頼元企業名	依頼元部署名	依頼元担当者名	依頼元電子メール	依頼元品名	
特記事項			添付ファイル		

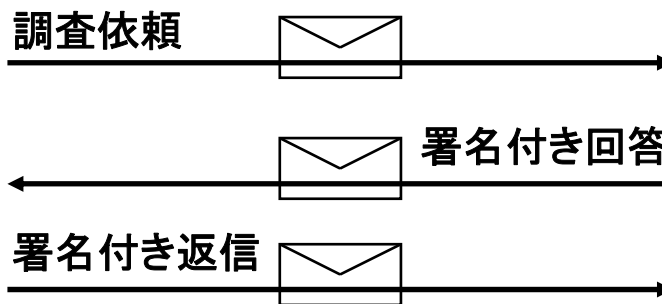
JEITA証明



このフォームは Adobe Reader 7.0.8 以上でご利用ください。
尚、このフォームの使用期限は2007年5月末までとなります。



(依頼者)



(回答者)

最後に

留意点

メール方式のEDIは、安価で、簡便で、便利な手段であるが、セキュリティ、信頼性など運用対策を充分考慮した上で実施する必要があります。
本運用標準ガイドラインをベースに各企業のEDI等のポリシーに則した運用をお願いします。

ご静聴ありがとうございました。